

21世紀 COE 講演会報告書

理学研究科 大須賀 篤弘

研究集会名:21 世紀 COE 講演会

講演者: Prof. Dirk M. Guldi

(Friedrich-Alexander-Universität Erlangen-Nürnberg)

演 題: “Carbon Nanostructures and Porphyrins - Exciting Opportunities
for Solar Energy Conversion”

場 所: 京都大学理学研究科 6 号館 571 号室

日 時: 2007 年 3 月 13 日 16:00-18:00

参加者: 化学専攻大学院学生、学部生、博士研究員、教員、工学研究科教員

参加者総数: 約 40 名

講演内容

Guldi 教授は光合成反応中心のモデル化合物としてポルフィリンとフラーレンやカーボンナノチューブなどの炭素材料とを組み合わせ、電子移動反応を研究されている、新進気鋭の物理化学者であり、本講演の導入部分では電子移動や炭素材料についての簡単な説明をしていただいた。Guldi 教授は長寿命電荷分離の達成など基礎科学的な面から、可溶化した炭素材料を用いた太陽電池の開発など応用面でも非常に重要な成果を発表されており、最新の研究成果をわかりやすく講演して頂いた。講演後は活発な質疑応答が行われた。

